

⑬ 小林市新庁舎（小林市）

用途	規模(延べ面積)	構造	階数	m ² 当たりの 木材使用量	建設事業費	竣工
庁舎	本館：5,010 m ² 東館：1,994 m ²	本館：SRC 造 東館：W 造	本館：4 東 館：3	m ³ /m ²	27 億 9,967 万 円	H29.6

木材使用量 (m ³)	工種	製材	集成材	CLT	その他	計
	木工事	205.92	158.76			364.68
	内装工事	275.42				275.42
	外装工事	44.58				44.58
	その他					
	計	525.92	158.76			684.68
うち県産材	525.92	158.76			684.68	
主な樹種	杉、桧	杉、桧				—

設計者：株式会社梓設計 九州支社

施工者：本館…坂下・緒方特定建設工事共同企業体

東館…坂口・丸山特定建設工事共同企業体

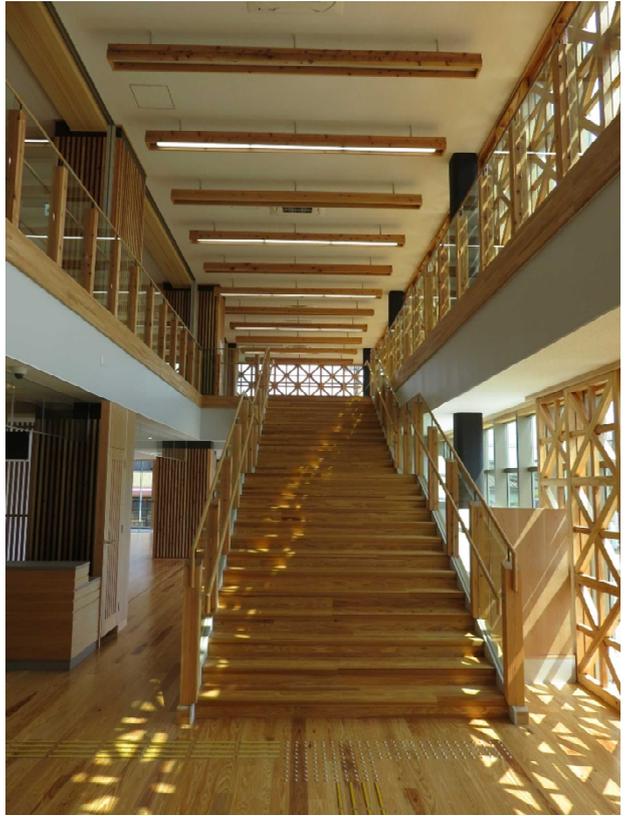
【建物概要（目的等）】

- ・市有林を有効活用することをコンセプトに、本館は内装木質化を、東館は全国でもあまり例のない在来工法による木造3階建てとした庁舎。
- ・地元の市民に親しまれる庁舎として、市民が利用しやすいよう多目的スペースやラウンジ等を配置し、バリアフリーにも配慮した空間のある庁舎。

【構造概要（木造・木質化に関する特徴等）】

- ・本館の床をはじめ照明ボックスや格子状の建具等に木質化を図った。
- ・東館は木造3階建てではあるが、構造において小林市オリジナルの耐力壁（スギ、ヒノキ）を採用するなど、在来工法として地元の大工さんでも施工できるスタイルを構築した。





⑭ KITTO 小林 (小林市)

用途	規模(延べ面積)	構造	階数	m ² 当たりの 木材使用量	建設事業費	竣工
集会場	883.55 m ²	W造	2	0.31 m ³ /m ²	3億3,497万 円	H29.6

木材使用量 (m ³)	工種	製材	集成材	CLT	その他	計
	木工事	43.47	161.30		45.7	250.47
	内装工事	5.09	0.02		9.76	14.87
	外装工事	8.22			4.36	12.58
	その他					
	計	56.78	161.32		59.82	277.92
うち県産材	56.78	161.32		59.82	277.92	
主な樹種	杉、桧	杉		杉	—	

設計者：切畑建築設計事務所

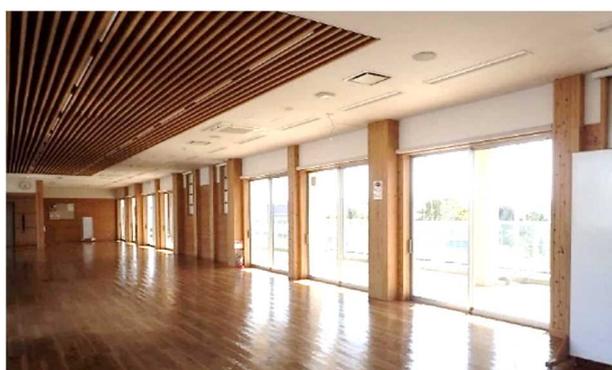
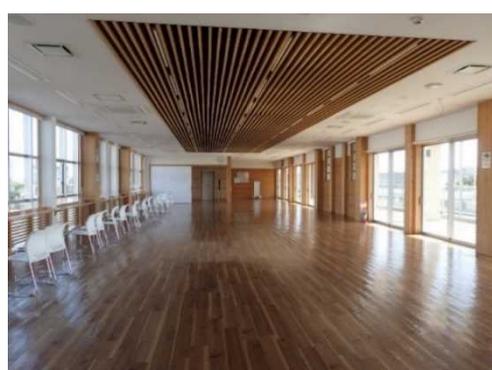
施工者：坂口建設株式会社

【建物概要 (目的等)】

- ・ JR 吉都線により南北に分断されていた中心市街地において、交通アクセスや防災機能を高め、南北の人々が交流し賑わいのある町づくりを目的とした都市整備事業や中心市街地活性化事業を活用し、市民や観光客が集い・ふれあい・交流ができ、市の魅力を内外に発信する拠点として計画・整備された施設。

【構造概要 (木造・木質化に関する特徴等)】

- ・ 集会場の面積が 200 m²以上あることから、耐火建築物 (1 時間耐火) が要求されるため、日本木造住宅産業協会が認定した木造耐火を採用している。
- ・ 木造の独立柱を石膏ボード 2 重貼りとし、表面に化粧板材を貼り付けた構造としている。
- ・ 各構造材をボード 2 重貼りとした耐火材とすることでスプリンクラーの設置を不要としている。



⑮ えびの高原キャンプ村 10 人用ケビン（えびの市）

用途	規模(延べ面積)	構造	階数	m ² 当たりの 木材使用量	建設事業費	竣工
簡易宿泊施設	63.84 m ²	W 造	1	m ³ /m ²	1,879 万円	R2.3

設計者：えびの市役所

施工者：株式会社オーム工業

【建物概要（目的等）】

- ・平成 27 年度から令和元年度にかけて建て替えを行ったえびの高原キャンプ村のケビン(全 14 棟)の一つ。
- ・全ての人が利用しやすいようにキッチン、シャワールーム、洗面台、トイレ、スイッチの高さ、玄関（段差無し）、スロープをユニバーサルデザインとした宿泊施設。
- ・屋根付きのバルコニーを設け、天候に関係なくバーベキュー等がいつでも楽しめる施設。

【構造概要（木造・木質化に関する特徴等）】

- ・広間・ロフト部分は、小屋組の木材を見せ、壁・天井の内装材にはスギ板を使用し、木材の持つ温かみを感じられるようにした。
- ・バルコニー部分にも木材を使用し、キャンプ場の自然に調和したものとした。



⑩ えびの高原キャンプ村浴場（えびの市）

用途	規模(延べ面積)	構造	階数	m ² 当たりの木材使用量	建設事業費	竣工
公衆浴場	93.02 m ²	W造	1	0.26 m ³ /m ²	6,100 万円	R4.6

木材使用量 (m ³)	工種	製材	集成材	CLT	その他	計
	木工事	24.60				24.60
	内装工事	0.56				0.56
	外装工事					
	その他					
	計	25.16				25.16
	うち県産材	24.60				24.60
	主な樹種	桧・杉				—

設計者：正浩設計

施工者：有限会社吉川工務店 株式会社オーム工業

【建物概要（目的等）】

- ・えびの高原キャンプ村内の公衆浴場施設。
- ・男湯、女湯、家族湯（五右衛門風呂）、シャワー室を設け、家族湯の五右衛門風呂では、薪で温泉を温めることができる。

【構造概要（木造・木質化に関する特徴等）】

- ・玄関ホール部分は、壁の内装材にスギ板を使用し、木材の持つ温かみを感じられるようにした。
- ・入口通路部分は、小屋組の木材を見せ、キャンプ場の自然に調和したものとした。
- ・浴室内部の壁には木目調パネルを採用している。





⑰ 並木公民館（高原町）

用途	規模(延べ面積)	構造	階数	m ² 当たりの 木材使用量	建設事業費	竣工
公民館	295.11 m ²	W造	1	0.28 m ³ /m ²	4,910 万円	R1.11

木材使用量 (m ³)	工種	製材	集成材	CLT	その他	計
	木工事	79.20				79.20
	内装工事	3.99				3.99
	外装工事					
	その他					
	計	83.19				83.19
	うち県産材					
	主な樹種	杉				—

設計者：空田建築設計事務所

施工者：株式会社高山建設

有限会社旭冷機

有限会社越智水道

【建物概要（目的等）】

- ・並木地区の地域コミュニティの場となる施設が老朽化していることや公民館が設置されていないことから、地域コミュニティの活性化や緊急時の避難場所として活用するための施設。

【構造概要（木造・木質化に関する特徴等）】

- ・内部の腰壁に県産材のスギ板を使用。また、集会室の勾配天井には、桁等の小屋組部材を木の化粧仕上げにすることにより、施設全体が温かい雰囲気となるよう留意した。

